

リーディングDXスクール事業【実践事例】

多度津町立多度津中学校（香川県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【教師主体の一斉授業から生徒が主語の授業への教職員のマインドセットの変化】

生徒に学び方などを選択させること、教科書を見ながら自分で学びを深めることなど、生徒に選択させる場面をできるところから取り入れてみようという実践を積み重ねる。



【グループでの課題解決の中で、生徒が学んだ知識やスキルを使って学び合う】

生徒は他の生徒と授業で学んだ用語を用いて自分の考えを伝え合い、グループとしての考えを練り上げるというやり取りをする。

【生徒一人ひとりが教科の見方・考え方を発揮する授業研究】

同教科等で指導案を持ち寄り、指導案を練り合う。授業終末の生徒の姿を共有し、指導方法や活動の提案を行っている。また授業参観を通して、再度検討し研究授業に臨む。

【生徒が自分の学習を進め、教師が適切なフィードバックをする】

生徒はメタ認知や自己調整を繰り返すことで、自分の学習を進め、教師はそれに対して適切なフィードバックをする。